

風景発見まちあるきを開催します!

いよいよ秋本番、区では区内の身近にある素敵な風景を巡る、「まちあるき」を開催します。新しい風景を探しに、ぜひご参加下さい。

【実施内容（※いずれも荒天中止です）】

①世田谷の今昔物語・まちめぐり

【日時】11月9日(日)正午～午後4時

【行程】豪徳寺駅集合～桜新町駅解散 (約4km)

②世田谷発まちの魅力再発見

【日時】11月15日(土)午前10時～午後4時

【行程】成城学園前駅東口集合～二子玉川駅解散(昼食持参。約6km)

【申込方法】★各回先着 20 人

10月29日(水)までに、電話またはファクシミリで都市デザイン課へ

地域風景資産プレートを見つけたら!

区内 86 箇所の地域風景資産のうち、活動団体の登録がされた資産に、目印となるハガキ大の特製プレートが配布されています。資産の説明が記載されている他、携帯電話などを使って、プレート内にある QR コードから、より詳しい情報を得ることができます。

もし現地で地域風景資産プレートを見つけたら、ぜひ QR コードを読み取ってみてください!

※ 各地域風景資産で順次設置が進んでいます

地域風景資産

池尻稻荷神社を中心とする旧大山道 [1-01]

江戸時代の大上参りが行われた歴史ある古道である。神社の境内にある洞れずの井戸は、旅人の喉を潤したといわれている。



世田谷区

各資産に設置される地域風景資産プレートの一例

かつて南烏山に工場があった!?

せたがやの隠れた風景 11

芦花公園駅から千歳通りを南に5分ほど歩くと、世田谷文学館があります。入口周辺には、築地塀風の塀や薬医門、池などが見られ、情緒ある空間になっています。

これらは、かつてこの辺りにあった(株)ウテナの創業者久保家の邸宅の名残で、邸宅の周囲には千歳通りを中央に挟み、のこぎり屋根の工場棟や研究棟、社宅やグラウンドなどが広がっていました。この場所は、北に京王線と甲州街道が走り、新宿へのルートが確立されており、材料や製品の輸送に便利だったようです。

工場や邸宅がなくなった今も、当時の面影を垣間見ることができます。散歩にちょうどよい季節です。ぜひ世田谷文学館に足を伸ばしてみませんか?

左: 久保家邸宅跡
右: 世田谷文学館



世田谷文学館 南烏山1丁目10番10号

いつかの風景
ここはどこ?



田園風景を真っすぐ一直線に伸びる砂利の道。道の上に立つ小さな柱は車止め?昭和30年代の風景です。今ではアスファルト舗装されたこの道はどこでしょうか? ※答えは3ページ

バックナンバーは

世田谷区 風景づくり通信 検索

風景づくりについてのお問い合わせは...

世田谷区都市整備部都市デザイン課

電話: 5432-2039 FAX: 5432-3023

せたがや 風景 × ひと × 活動
風景 PRESS



祝第50号!! 区内の身近で素敵な風景の輪が広がり続けています

世田谷区の都市デザインを巡る vol.4 粕谷地蔵尊前小広場は

今・昔の交差点



人と車が行き交う三角形の土地に存在感を放つ粕谷地蔵尊前小広場

千歳船橋駅からバスに乗って千歳烏山駅へ向かうと、粕谷地蔵尊前小広場と呼ばれる、道路を二方向へ分岐するバス停(盧花恒春園前)と地蔵尊のある三角地があります。平成2年に整備されたこの小広場は、敷地の形状に合わせ、舗装や各設備のデザインに「三角形」が使用されています。

粕谷周辺には品川用水(現:千歳通り)や烏山川(現:遊歩道)、水無川などが流れていました。現在でも盧花恒春園や粕谷の竹林など、武蔵野の面影残る場所が点在しており、小広場もその周辺環境を考慮し、木材が多用されています。

この場所に

小広場のあちこちに三角形が見つかります

は昔、共同小屋があり、近隣の農家が作物を出荷するときなどに使われていました。今でも、古くは江戸時代に建立されたものも含めて五体の地蔵尊がまつられており、地域住民の手で大切に守られています。



敷地の中心に設けられた地蔵尊



紙ヒコーキのような形をした屋根

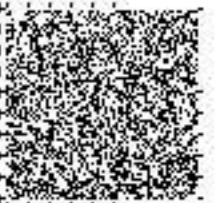


千歳烏山駅・芦花公園駅から徒歩約10分
粕谷地蔵尊前小広場

2 ページ 自転車で風景を探そう!
桜上水から西側へ

3 ページ 風景づくりアドバイザー
懇談会を開催しました!

4 ページ 風景コラム・イベントカレンダー
世田谷区の風景づくり情報



自転車で風景を探そう！

ちょっとたんけん 探景

世田谷



区民発! 烏山地域の風景自慢

- ◇ 将軍池公園は緑が多く、数種の野鳥もいます。もっと水際まで歩けるようになるといいな!
- ◇ 北烏山には、お寺の多い烏山寺町という界わいがあります。
- ◇ 一般に開放されている西澤つつじ園は、5月のつつじが見事!

6月14日に開催した「風景づくり意見交換会」の参加者に聞いた、「世田谷区内のお気に入りの風景」の一部です!

世田谷区内には、各電車站から歩いていくには少々遠い風景が少なくありません。世田谷の風景をより身近に感じるため、自転車を使って出かけてみませんか？

世田谷区のコミュニティサイクル「がやリン」を利用した、オススメコースを紹介します。

第4回 桜上水から西側へ

環状八号線界わいに広がる大小さまざまな自然風景を探しに、自転車でぐるっと一周しました。

移動距離 約6.3km 所要時間 約1時間40分

スタート & ゴール IHIがやリン 桜上水ポート

コミュニティサイクル **がやリン** を利用しました

※利用方法等、詳細は... 世田谷区 がやリン 検索

風景づくり百話 第49話

地域風景資産の選定は、区民の皆さんが「身近で大切にしたい風景」を推薦することをきっかけに、地域で風景を守り、育て、つくる「風景づくり活動」を応援していく風景づくり条例に基づく制度です。現在、世田谷区内で86箇所選定されています。

平成26年度 第3回 風景づくり検討会 風景づくりアドバイザー懇談会 Part.1 を開催しました!



区民の自主的な風景づくり活動を支援する取り組みとして「風景づくりアドバイザー」があります。9月27日(土)、区内で活躍中の専門家2名をお招きし、「樹木や草木のより良い管理方法を学びたい」「活動を広めるコツを教えてください」といった課題にアドバイスする「風景づくりアドバイザー懇談会」を開催しました。

「場所づくり研究所 プレイス」の宮地成子さんから、ご自身が約15年携わっている「烏山ネット・わあ〜く・ショップ」を事例に、地域での活動のコツを教えてくださいました。町会や学校、行政への活動のPRにあたっては、一方的に気持ちを伝えるのではなく、互いにメリットを感じられようから始め、時間をかけながら、活動への理解を広めていくことが大切。また、地域の人に頼らず一緒に楽しめる仲間作りが大切であり、常に感謝の気持ちを持ちながら活動を共にしていくことで、継続につながるというお話をいただきました。

「Green Works」の木村智子さんからは、具体的な庭づくりのコツに加え、三鷹市で老朽化した小さな公園の改修にあたり、地域のみんなで将来像を検討し、楽しみな

がら改修を進めた「コミュニティガーデン」の事例をご紹介いただきました。公園の改修に関わる意見交換や活動をする中で、身近な公園=自分の庭であり、みんなの庭であるという意識を徐々に醸成していった結果、最初は一步引いて見ていた地域の人々も、次第に率先して花壇作りを手伝うようになるなど、大きな変化が起こったそうです。

質疑応答では、「新規加入者とのコミュニケーションの取り方」「活動グループと行政の役割分担」といった活動する上での課題から、「危険な虫への対策」「庭の花の組み合わせ方」といったガーデニングの具体的な質問までさまざまに飛び出すなど、充実した雰囲気の中、懇談会 Part.2 への期待を膨らませながら幕を閉じました。

今回の 風景づくりアドバイザー紹介

場所づくり研究所 プレイス NPO法人 GreenWorks 宮地成子さん 木村智子さん

